

事業所名 手作りデイ コビトハウス

支援プログラム (参考様式)

作成日

7年

2月

28日

法人(事業所)理念	お子さまの「安全で安心できる居場所づくり」と、ご家庭の「ちょっとだけ丁寧な子育て」を、職員チームでコビトのようにハイホー♪ハイホー♪とお手伝いします。						
支援方針	①自然豊かな環境で、四季の屋外あそび・屋内あそびを通じて子どもの発達を支援する。②家庭的な暖かい雰囲気の中で、専門的な子育てサポートを保護者と地域に提供する。						
営業時間	10時	0分	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	「げんきに、わすれものないようにすごそう」場面や季節に応じた衣類の調節をはじめ、身支度や持ち物の管理、手洗いやトイレトレーニング等、生活習慣全般において必要な手助けと指導をします。/「きょうはどれくらいげんきかな」屋外あそびに参加するかどうか、その日の自分の体調に気づいて自分に合った活動を選択できるよう、自己理解や意思表示を促します。/「あんぜんにくらそう」定期的な防災教育や避難訓練を通じて、より安全に生活を送る力が身につくよう支援します。					
	運動・感覚	「いっぱいそとあそびしよう」おにごっこ(春～秋)・そりすべり(冬)など、約900坪の敷地に屋外遊具や池・築山などを整備した専用の庭園を活用し、微細運動や粗大運動の全般的な発達を促します。「ちからかげんをれんしゅうしよう」お友だちへのタッチや遊具の貸し借りなどを、相手がびっくりしない強さで行えるよう、あそびの中で練習する機会を用意します。「じょうずにころぼう」バランスを崩したときに上手に手足で体を支えられるよう、傾斜やでこぼこのある場所で四肢や体幹を使う遊びを工夫します。					
	認知・行動	「はかってクッキング」「スライムつくろう」材料を計量し調理することやおもちゃを作ることで、学習事項を生活場面と結びつける機会を提供します。「いまだれがおに?」鬼ごっこで走り回りながら、だれが鬼に交代したかを認識する練習を積み重ね、集団あそびの中でより適切な行動がとれるよう促します。「ひとりになりたい/なかまにはいりたい」自分の気分や感覚の認知を促し、それを表現できるよう促します。また、必要なタイミングで手助けを得て、集団場面で無理をすることなく自分らしく行動できるよう支援します。					
	言語 コミュニケーション	「あいさつしよう」自分に合うやりかたで、来所時や帰宅時、おやつや帰りの会等でお友だちやスタッフに挨拶できるよう支援します。「さん・くんでよぼう」お友だちにもスタッフにも、〇〇さん〇〇くと敬称をつけて呼び合うよう促します。「じぶんでいえるかな」他者への依頼や要求、感謝や謝罪などの気持ちを自分なりの言葉で伝えられるよう促します。					
	人間関係 社会性	「あそびにはいる・あそびからぬける」あそびに入りたいときにどうやって伝えるか、つまらなくなってきたときに上手に抜けるときの相手への伝え方等を、一緒に考えながら練習します。「いやなときどうするか」遊びの中で発生する小さなトラブルを通じて、相手にやめてほしいとき・嫌なことをされたときの対処の手立てが増えるよう支援します。「すぽーつまんじゅう」勝ったとき・負けたときの年齢に応じた振る舞いを練習し、また次も楽しく遊べるようにあそびを終えることを手助けします。					
家族支援	個別のご相談に随時対応し、活動場面のご見学や参加を通じて支援を行っています。またご希望に応じて、公認心理師によるアセスメント(Vineland-II)の実施や、ペアレントトレーニングも開催しています。			移行支援		見学や情報共有などを積極的に行い、安心して移行できるよう支援しています。	
地域支援・地域連携	地域で実施される各種会議や勉強会に参加しています。緑が丘町内会で開催される地域向け防災学習会に参加し連携を図っています。			職員の質の向上		事業所内での定期的な研修(月1回)を行っているほか、外部で開催される研修にも積極的に参加しています。	
主な行事等	避難訓練/防災を学ぼう/なつまつり/そりすべり(萩ノ山スキー場)/図書館にいこう/お買い物にいこう/ながしろうめん/水遊び/体育館でうんどうしよう/ゲーム大会/お誕生日会 クッキング/スタンプラリー/保護者向け茶話会/ペアレントトレーニング						